



霞台小だより

ひばり

No. 682

令和5年6月30日 発行
青梅市立霞台小学校

校長 佐藤 広明

日光群馬移動教室を終えて

主幹教諭 足立 嘉信

6年生最大の行事である日光群馬移動教室に行っていました。早朝から圏央道通行止めで渋滞し、約半日遅れで到着となりましたが、天候に恵まれてほぼ予定通りに実施することができました。

最初に訪れた木彫りの里では、日光の伝統工芸である日光彫りに挑戦し、独特の使い方をする「引っ搔き刀」の説明を聞きながら真剣に取り組む子供たちの姿が見られました。

2日目には、「日光の社寺」として世界遺産に登録されている二荒山神社、東照宮、輪王寺を見学し、グループに分かれて声を掛け合いながら協力する良さを体験することができました。

最終日は室長や生活係が中心となり、3日間自分たちが過ごした部屋や、お世話になった宿の方々に感謝の気持ちをこめて丁寧に片付けていました。

世界遺産条約は、地球上に存在するさまざまな文化遺産や自然遺産をある特定の国や民族のものとしてだけでなく、世界のすべての人にとってかけがえのない宝物として保護していこうという考えから生まれました。

日光市や群馬県は世界遺産を筆頭に自然の美しさに恵まれ、歴史的な価値の高い建造物の宝庫でもあります。子供たちはこの移動教室を通じて、日本の文化や豊かな自然環境に触れ、感動とともに一人一人の学びを深めることができました。また、3日間を通して「協力」「感謝」「思いやり」など、実に多くのことを学び、さらに成長することができたと考えています。

次は、5年生の一泊二日の御岳移動教室です。5年生に向けて、現在、6年生は自分たちの体験を振り返ってまとめ、しっかりと伝えるために発表会の準備を進めています。体験を通して得た知識を活かして、さらに他学年まで波及させ、関連付けてつながる学びが期待できます。